

1. 学校名 静岡県御前崎市立第一小学校

2. 活動テーマ名 4年：目指せ！『御前崎の海』博士
5年：『漁業から学ぶ、御前崎の海』

3. 実践の概要・ねらい

【4年】

御前崎の海について見学を通して広く体験的に学習を行い、地元 御前崎の海の魅力について考え、学ぶ。その後、子どもたちがさらに学びを深めたい項目・目的に合わせてグループを構成し、さらなる見学や関係者から話を伺うことで、より海の魅力について深く考え、まとめを行い、御前崎の海の魅力を発見し、発表を行う。この活動を通し、地元 御前崎を深く考え、より海を身近に感じ、地元を大切にすることを育む。

【5年】

私たちの生活に大きく関わる漁業について、御前崎にある南駿河湾漁業共同組合の各施設を見学することで、地元の漁業の特色や現状について学ぶ。また、市内にある温水利用研究センターの施設見学や取り組みを伺うことで、種苗生産や養殖の必要性を学ぶ。

各施設の見学を通して、海洋の現状にも視野を広げ、海への興味関心を持つことができ、より深く学ぶことが出来るよう促がしを行う。

このような活動により、地域に根ざした取り組みに出来るよう各関係機関との連携を構築する。

4. 実践計画

【4年】目指せ！『御前崎の海』博士

○時数：6月～2月 合計24時間（総合的学習 22時間 国語2時間）

6月:事前学習 7月:御前崎の海を学ぶ体験学習 個人テーマ設定 9月:グループ学習
10月:学習のまとめ 発表資料作成

○関連：国語「リーフレットを作ろう②」

【5年】『漁業から学ぶ、御前崎の海』

○時数：6月～7月 合計13時間（社会科 9時間 総合 4時間）

6月:事前学習 7月:関連施設見学 9月:学習のまとめ

5. 今年度の実践

①計画からの追加・変更点

4・5年生ともに活動については、計画自体の大きな変更点はなかった。

②実践の成果と課題

【4年】

1学期には、学年全員で「御前崎の海」に関する施設を見学した。「名前は聞いたことがあるけど、どんな施設か知らなかった。」「こんな場所があるって初めて知った。」等、地元でありながら知らなかったことが多く、改めて「御前崎の海」のよさに気づくことができた。

2学期には、各自が興味や関心をもったことについて、深く追究していった。子どもから出された問題を元に、漁港コース・なぶら市場コース・マリパークコース・ウミガメコース・日向子磯場コース・灯台コースの6つのコースを設定し、調べ学習に取り組んだ。ここでの学習は、各自が問題意識を持ち、それぞれのコースで専門の方についていただき、詳しい話を聞いたり、インタビューした

り、施設の中を見せていただいたりと、より深く問題を追求することができた。

学校独自でこのような学習を実施するのは、資金面、人的な面、時間的な面で大変難しい。けれども、本助成を受けたことで、子どもの思いを生かしたダイナミックな活動を展開することができた。大変有り難く感じている。

海洋教育を通して故郷御前崎のよさを実感し、郷土を愛する子どもたちが育っていくと期待している。

【5年】

社会科の「漁業の仕事」の学習の一環として見学した。競りの時間に合わせたので、実際の競りを見学できて良かった。実際に観たことのある児童は少ないので、観ることで、御前崎の海を身近に感じた児童が多かった。教科書の知識としては知っているが実際の様子を知らない教員が多いと思う。教員の指導力を向上させたい。

6. 連携機関と内容

自然体験活動団体 Earth Communication（活動コーディネート）

御前崎 渚の交番（体験活動受入・実施）

駒形神社・御前崎灯台・南駿河湾漁業組合・なぶら市場・アカウミガメふ化施設

御前崎市 商工観光課（施設見学・取組を伺う）

南駿河湾漁業協同組合（魚市場・施設見学、漁業の現状を知る）

温水利用研究センター（養殖現場・施設見学）

御前崎市立第一小学校 4年 目指せ！『御前崎の海』博士

目的：

御前崎の海について見学を通して広く体験的に学習を行い、地元 御前崎の海の魅力について考え、学ぶ。その後、子どもたちがさらに学びを深めたい項目・目的に合わせてグループを構成し、さらなる見学や関係者から話を伺うことで、より海の魅力について深く考え、まとめを行い、御前崎の海の魅力を発見し、発表を行う。この活動を通し、地元 御前崎を深く考え、より海を身近に感じ、地元を大切にすることを育む。

○時数： 6月～2月 合計24時間（総合的学習 22時間 国語2時間）

○関連： 国語「リーフレットを作ろう②」

○目標： ① 海の魅力を探ることで、海をより身近に感じる。

② 実際に海につながる名所を歩き、見学することで、地元の海の多様性を体験的に感じ、学ぶ。

③ 一人ひとりが自身のテーマを持つことで、探求心を養い、学ぶことの楽しさを感じる。

○連携機関と内容： 自然体験活動団体 Earth Communication（活動コーディネート）、御前崎 渚の交番（体験活動受入・実施）

駒形神社・御前崎灯台・南駿河湾漁業組合・なぶら市場・アカウミガメふ化施設・御前崎市 商工観光課（施設見学・取組を伺う）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動			1 御前崎の海を知る ① 御前崎の海を知る (総合 5時間) ・旧御前崎町の海の名所を巡る ・施設見学 ・御前崎の海の機能を知る				2 テーマに合わせて ① グループ活動 (総合 5時間) ・テーマに合わせ、関係各所を訪問 ・疑問や知りたいことを解決させ、テーマに対する学びを深める ・まとめ作業を行うための材料集めを行う				3 御前崎の海の魅力を広める ① まとめる (総合 3時間) ・これまでの体験学習で学んだことを基に、テーマごとまとめる ・他グループ同士で共有 ・	
探求的な活動			↓ ② テーマ決め (総合 2時間) ・見学等を通して学んだことを基に、一人ひとりがテーマを持つ				↓				↓	
表現的な活動			↓ ③ テーマごとグループを構成 (総合 1時間) ・テーマに合わせたグループングを行い、調べたい事柄などをまとめる				↓ ② 共有 (総合 4時間) ・グループ内で学んだこと、感じたことを共有 ・まとめ作業の方法を探る ・				↓ ② 発信 (総合 2時間) ・学校 HP で取組等の掲載 ・参観懇談会 ・1 / 2 成人式で発表	

御前崎市立第一小学校 5年『漁業から学ぶ、御前崎の海』

目的：

私たちの生活に大きく関わる漁業について、御前崎にある南駿河湾漁業共同組合の各施設を見学することで、地元の漁業の特色や現状について学ぶ。また、市内にある温水利用研究センターの施設見学や取り組みを伺うことで、種苗生産や養殖の必要性を学ぶ。

各施設の見学を通して、海洋の現状にも視野を広げ、海への興味関心を持つことができ、より深く学ぶことが出来るよう促がしを行う。

このような活動により、地域に根ざした取り組みに出来るよう各関係機関との連携を構築する。

○時数： 6月～7月 合計13時間（社会科 9時間 総合 4時間）

○関連：

○目標： ① 地元の漁業に触れることで、海を身近に感じる。

② 漁業を通して、海の環境に意識を向ける。

③ 育てる漁業の大切さを考え、認識する。

○連携機関と内容： 自然体験活動団体 Earth Communication（活動コーディネート）、御前崎 渚の交番（体験活動受入・実施）

南駿河湾漁業協同組合（魚市場・施設見学、漁業の現状を知る）、温水利用研究センター（養殖現場・施設見学）

